



並木中等story

令和3年10月20日号

成功が先か、幸福が先か

今日はシェーン・エイカー氏の著書『幸福優位7つの方法』（徳間書店）に書かれている内容から作成しました。

皆さんは“成功した人が幸福になれる”と思いますか、それとも“幸福な人が成功する”と思いますか。エイカー氏の答えは後者“幸福な人が成功する”です。エイカー氏は『幸福感や楽観主義は、実際に業績を高め優れた成果をもたらす。幸福感そのものが競争力の源泉となる』と言います。脳をポジティブで前向きな状態にすれば、モチベーションが高まり、効率的に働ける。さらに、挫折から立ち直る力もわき、創造性が増し、生産的になるとも語っています。反対に、幸せを先送りすれば、脳のもつ「成功の可能性」を狭めてしまうとも話します。



言葉で「幸福感を持ってください。」といわれても、すぐに持つことはできません。また、幸せかどうかは自分自身でしか分かりません。周りの人からは幸せに見えても、その人自身が幸せでないと思ったら、その時点で“幸せでない”ことになります。まずは、幸福感を持つことは大切だと思ってください。次号で幸福感を持つためのヒントを紹介します。

《祝！粉川先生が優秀教員に！》

県教育委員会から連絡があり、粉川先生が令和3年度の優秀教員に選出されました。先生は科学研究部担当でSSH事業にも関わり、科学の甲子園などで大勢の生徒を受賞に導いています。おめでとうございます。

